
乾いた唇

皿尾 りお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

乾いた唇

【Zマーク】

Z5993D

【作者名】

皿尾 りお

【あらすじ】

あなたにはわかるはずもないよね。ズルイよね。

田の前には、すくなく綺麗な新しいビルが立っている。

世の中つてホント、ズルイと思つ。

「悲しこことなんか何もないよ」と、浮かれた景色が、悲しみをほやかしてくる。

ホント、ズルイ……。

私は、人ごみで溢れかえった街で、立ち止まる。

どこからともなく、陽気な音楽が流れてくる。

世の中つてホント、ズルイ……。

悲しい言葉でさえ、浮かれたリズムに変えていく。

・・・・・私が、弱すぎるだけ?

あなたが、欲しかったから、すべてをあなたに捧げただけなのに・・

私があなたの前で、いへらねじかで見せても、あなたにまきつと痛々しかったんだね。

あなたが去つて、夢から覚めれば、待つていたのはつまらない現実だけだよ。

最近、この街は寒すぎて、そのせいか、なぜか淋しく感じないの・・・

涙も、もづ、出ないよ。

今なりやつとい、「やよなり」でやせつだよ。

心ことばとばしゃべ刺をつた別れの言葉をえ、今じゃ心地いい痛みだよ。

あなたにはわかるはずもなことねーとまじこながらも愛したあの日々も、いい思い出も。

あなたの携帯番号もとつて消したよ。

世間が悲しみをほやかしていくから・・・・・

世間が悲しい言葉を浮かれたりズムに変えてくれるから……

でもね……

でも……

私の頭の中は、消してくれないの……

あなたとの思い出も、携帯番号も消してはくれないの……

“ プルルル、プルルル、プルルル…… ”

「はい……」

世間より何より、あなたが一番、ズルイ……

「もしもし、どうしたのー? あ、わかった……新しい人とうまくいってないんでしょ? 」

・
・
・
・
・
私が、
一番、ズルイの？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5993d/>

乾いた唇

2011年1月27日07時54分発行